SONY®

学習機能付
リモートコマンダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RM-PLZ530D

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」をよくお読みください。

定期的に点検する

1 年に1 度は、破損していないか、電池が液漏れしていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

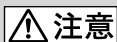
万一、異常が起きたら

変な音･においがしたり、煙が出たら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

警告表示の意味

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電･破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

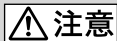
分解禁止

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、火災・感電により大けがの原因となります。

幼児やペットなどに誤って触らせない

幼児やペットが誤って操作すると、火災や大けがなどの原因となります。
使用後は、幼児やペットが誤って触らないよう、手の届かないところに置いてください。

注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、リモコンから電池を抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所の強度も充分に確認してください。

高温の場所や、湿気の多い場所で使用・保管・放置しない

火のそばや直射日光のあたるところ・暖房器具の近くや炎天下の車中などに置くと、変形したり、火災の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機では以下の電池をお使いいただけます。電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。

乾電池

単3形アルカリ、単3形マンガン

⚠危険　電池が液漏れしたとき

電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

- 小さい電池は飲みこむおそれがあるので、乳幼児やペットの手の届くところに置かない。
  万が一飲みこんだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。ショートさせない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯·保管しない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
  万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

目次

準備する

使ってみる

使いやすくカスタマイズする

本機の設定を変更する

その他

このリモコンならこんなに便利です！

AV機器を最大8台操作可能

本機1台で、テレビ、チューナー、ブルーレイディスクレコーダー、DVDレコーダー、アンプ、デジタルビデオカメラ、パソコン、照明、などのAV機器を最大で8台まで操作することができます。

主要AV機器メーカーのリモコン信号をあらかじめ記憶ずみで、すぐに使用可能

ソニー製品をはじめとする主要AV機器メーカーの製品のリモコン信号が、すでに本機に記憶されています。簡単な設定（一発！初期設定）を行うだけで、すぐにお持ちのAV機器を操作することができます。
また、お買い上げ時の設定であらかじめソニー製品が操作できるように設定されていますので、ソニー製品をお持ちの場合は、そのままお使いになることができます。（12ページの「準備をする」にお進みください）

リモコン信号を記憶する「学習機能」で使いやすいようにカスタマイズ

お持ちの機器が本機で使用できなかった場合には、「学習機能」（25ページ）で、お手持ちのAV機器のリモコン信号を記憶させることにより、操作ができるようになります。また、記憶させるリモコン信号はお好きなボタンに設定できますので、お使いになりやすいように自由にボタン配置をカスタマイズすることができます。
また、AV機器のリモコン信号だけでなく、エアコンや照明機器などに付属しているリモコンの信号を記憶させることもできます。（一部の機器を除く）

「マクロ機能」で連続した操作をボタンひとつで実行可能

最大16ステップの連続した操作をひとつのボタンに設定し、ワンタッチで一連の操作を行うことができます。例えば、ボタン一つで、テレビとブルーレイディスクレコーダーの電源をオンにして、録画した番組の一覧を表示させることもできます。

各部のなまえ

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
SET
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11
12
リンクメニュー
番組表
画面表示
決定
戻る
オプション
ホーム/メニュー
A
B
C
D

1 SETボタン
設定をはじめるためのボタン
（13, 16, 23, 25, 39, 40ページ）

2 SETランプ
設定中に点灯または点滅します

3 TV電源ボタン

4 電源ボタン

5 開/閉ボタン

6 TV入力切換ボタン

7 音声切換ボタン

8 オフタイマーボタン

9 操作切換ボタン
各機器の切り換えや設定中、操作中に点灯します。またソニー製品を設定している場合は、機器の電源をオンにします
（13, 16, 20, 23, 25, 39, 40, 44, 47ページ）

10 シフトボタン
ボタンの機能を切り換える（シフトモードにする）ボタン
（20, 25, 40ページ）

11 シフトランプ
シフトモード中に点灯します
（20, 25, 40ページ）

12 ワイド切換ボタン

13 2画面表示ボタン

14 放送切換ボタン

15 数字ボタン

16 10キーボタン

17 音量ボタン「＋/－」

18 チャンネルボタン「＋/－」

19 HDD/BDボタン

20 消音ボタン

21 d（連動データ）ボタン

22 カラーボタン

23 3Dボタン

24 リンクメニューボタン

25 アクトビラボタン

26 番組表ボタン

27 画面表示ボタン

28 戻るボタン

29 カーソル/決定ボタン

30 ホーム/メニューボタン

31 オプションボタン

32 シアターボタン

33 録画リストボタン

34 操作ボタン

35 システムコントロールボタン
システムコントロールマクロを実行するボタン
（25, 40ページ）

3、4など■の番号は、この取扱説明書では、総称して「基本ボタン」と呼んでいます。

凸点（突起）について

数字ボタン「5」、音声切換ボタン、再生ボタン、チャンネルボタン「＋」には凸点（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。

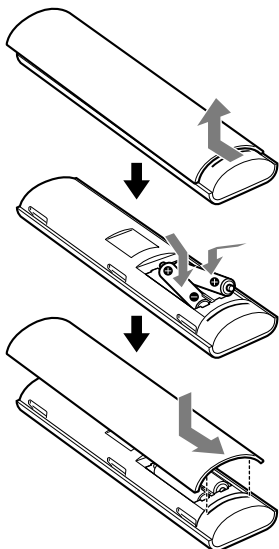
音量ボタン「＋/－」と消音ボタンについてのご注意

映像機器を選んでいるときは、操作切換ボタン「TV」に設定されたテレビの音量を調節および消音します。オーディオ機器（アンプ、CDなど）を選んでいるときは、アンプの音量を調節および消音します。（AMPボタンにアンプまたはDVD内蔵ホームシアターが設定されているとき）
音量を調節する機器は変更することができます。詳しくは「テレビなどに接続したオーディオ機器の音量を調節する」（23ページ）をご覧ください。

ご注意

本機の設定や操作する機器によって、ボタンの機能が異なります。本機の工場出荷時のそれぞれの機器に対する操作ボタンの機能については、別紙の『機能一覧表』をご覧ください。

電池を入れる

下図に従って本機の電池ぶたをスライドして開き、単3形乾電池2本（付属）を入れます。
（充電式電池は使用できません）

電池の交換時期について

電池の寿命は約1年です。
電池が消耗すると、本機で正常に操作できなくなったり、操作できる距離が短くなったりします。
2本とも新しい単3形乾電池に交換してください。

機器を設定する

本機はお買い上げ時に、下の表の機器が操作できるように設定されています。これらの機器を操作する場合は、設定を行わずそのままお使いいただけます。

操作切換ボタン	操作できる機器
TV	ソニー製テレビ(地上デジタル・BSデジタル・110度CSデジタルチューナー内蔵テレビ含む)
チューナー	ソニー製スカパー!チューナー
DVD	ソニー製DVDレコーダー(リモコンモード3)
BD	ソニー製ブルーレイディスクレコーダー(リモコンモードBD3)
PC	ソニー製パソコン(VAIO)(Windows Vista, Windows 7プリインストールモデル)
カメラ	ソニー製デジタルビデオカメラ(ハンディカム)
照明	ナショナル/パナソニック社製照明機器
AMP	ソニー製AVアンプ

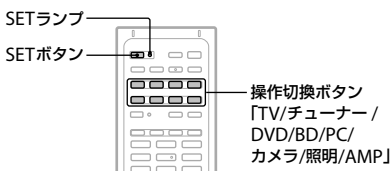
上記以外の機器、または上記の機器でも動作しない場合は、下記の3つの方法から選んで設定を行ってください。

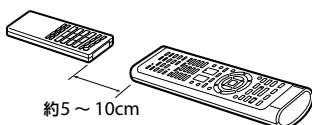
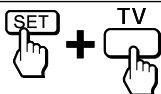
A: お持ちの機器のリモコンを使って設定するー一発!初期設定 お持ちの機器に付属のリモコンを使って設定します。	14ページ
B: メーカー番号を入力して設定する 機器の種類やメーカーを選んで設定します。	16ページ
C: 機器の動作を確認しながら設定する 別紙の『メーカー番号一覧表』にないメーカーや機器については、リモコン信号を送信して機器の動作を確認しながら設定します。	18ページ

ご注意

機器の種類やメーカーによっては、設定できない場合もあります。

A: お持ちの機器のリモコンを使って設定する

— 一発！初期設定

例：お持ちのテレビを操作切換ボタン「TV」に設定するには

1 **本機と、お持ちのテレビ付属リモコンを向かい合わせにする。**

2 **SETボタンを押したまま、2秒以内に操作切換ボタン「TV」を押す。2つのボタンを、「ピピッ」という音が鳴るまで押したままにする。**

操作切換ボタン「TV」とSETランプが点灯し、その後に指を離すとSETランプが点滅します。

3 **「ピー」という音が鳴るまで、お持ちのテレビ付属リモコンの電源ボタンを押したままにする。**

設定が完了すると、「ピー」という音が鳴ります。
設定ができなかった場合は、SETランプが2回点滅し、「ピピッ」という音が鳴り、再度SETランプが点滅を始めます。もう一度、お持ちのテレビ付属リモコンの電源ボタンを押したままにしてください。

4 **本機をテレビに向け、操作できるか確認します。**

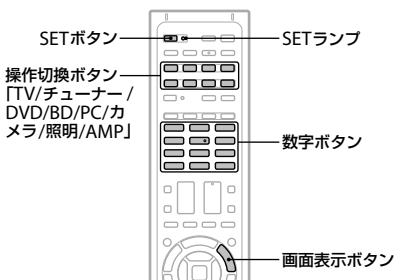
テレビ以外の機器を設定するには

- 手順**2**でSETボタンと機器を設定する操作切換ボタンを押します。
- 設定する機器のリモコンに「電源ボタン」がない場合は、下記の表記のボタンをお試しください。
  POWER
  ON/OFF
  電源ON
  スタンバイ（パソコン）
  全灯または全光（照明機器）
  全灯／消灯（照明機器）

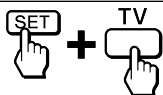
ご注意

- 操作切換ボタン「TV」に設定できる機器は、デジタルテレビ（地上デジタル・BS デジタル・110度CS デジタルチューナー内蔵テレビ）、アナログテレビ（地上アナログ・アナログBS チューナー内蔵テレビ）、ビデオ一体型テレビ（地上アナログ・アナログBS チューナー内蔵）のみです。
- SETランプが5回点滅し、「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った機器は、設定を行うことができません。その場合は「学習機能」（25ページ）で必要なボタンにリモコン信号を記憶させてお使いください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。
- SETランプが2回点滅して「ピピッ」という音が鳴ったときは、設定が完了していません。もう一度手順**2**からやり直してください。
- 「一発！初期設定」で本機を設定した後に、本機を操作をして一部のボタンが動作しない場合は、もう一度「一発！初期設定」の設定操作をやり直して、動作を確認してください。
  「一発！初期設定」の設定操作を繰り返すたびに、本機のボタンに設定されるリモコン信号の候補が次々に呼び出されます。
  それでも、最適な設定にならない場合は、必要なボタンをお持ちの機器のリモコンから学習してお使い下さい。
- お持ちの機器のリモコンがなかったり、設定したい機器のリモコンに「電源ボタン」がない、または動作しない場合、次の方法で設定してください。
  - 「お持ちの機器のリモコンを使わずに設定する」（16ページ）
  - 「お好みのボタンにリモコン信号を記憶させる — 学習」（25ページ）

B: メーカー番号を入力して設定する

お持ちの機器の種類やメーカーを選んで、メーカー番号を入力して設定します。

例:操作切換ボタン「TV」に設定するには

1 **別紙の『メーカー番号一覧表』を参照し、操作する機器のメーカー番号を探す。**

2 **SETボタンを押したまま、2秒以内に操作切換ボタン「TV」を押して、すぐに離す。**

SETランプと操作切換ボタン「TV」が点灯します。

3 **4桁のメーカー番号を押す。**

「0」を入力する場合は数字ボタン「10」を押します。
「ピー」という音が鳴り、SETランプと操作切換ボタン「TV」が消灯し設定が完了します。

ご注意

- 操作切換ボタン「TV」に設定できる機器は、デジタルテレビ(地上デジタル·BS デジタル·110 度CS デジタルチューナー内蔵テレビ)、アナログテレビ(地上アナログ·アナログBS チューナー内蔵テレビ)、ビデオ一体型テレビ(地上アナログ·アナログBS チューナー内蔵)のみです。
- 別紙の『メーカー番号一覧表』にない番号を押したり、間違った順番で番号を押したりすると、操作切換ボタンが5回点滅し、「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り、消灯します。メーカー番号を確かめてから、もう一度設定をやり直してください。
- 設定の途中で30秒以上ボタンの入力がないと、入力待ち状態が解除されます。メーカー番号の設定を続けるには、もう一度手順**2**から始めてください。
- 途中で間違った数字ボタンを入力してしまった場合は、SETボタンを押すと、設定を中断できます。もう一度手順**2**からやり直してください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

- 学習（25ページ）したボタンがある場合、新しく機器を設定しても、記憶されたリモコン信号はボタンに残ったままになります。
  学習したリモコン信号を使用しない場合は、「基本ボタン学習＆シフトモード基本ボタン学習の消去」（31ページ）または「操作機器ごとのリモコン信号の消去」（32ページ）を行ってください。

設定したメーカー番号を確認するには

本機に現在設定されているメーカー番号を、SETランプと操作切換ボタンの点滅と、「ピー」という音で確認できます。
SETランプ点滅回数は桁数を表わし、操作切換ボタン点滅回数と、「ピー」という音は設定番号の数字を表わします。
操作切換ボタンの速い点滅3回は0を表します。
メーカー番号を確認するとき、「SETランプ点滅→操作切換ボタン点滅＋ピー音」が4回繰り返されます。

例：操作切換ボタン「DVD」のメーカー番号を確認するには

1 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

SET

2 **画面表示ボタンを押したまま、操作切換ボタン「DVD」を押す。**

SETランプが消灯し、SETランプと操作切換ボタンの点滅と、「ピー」という音でメーカー番号を表わします。

例：「1021」の場合

（ピー音と同じ回数だけ操作切換ボタンが点滅します）

1桁目：SETランプ1回点滅後、操作切換ボタン1回点滅、ピー音1回
1桁目は「1」

2桁目：SETランプ2回点滅後、操作切換ボタン3回点滅（速く）、ピー音3回（短く）
2桁目は「0」

3桁目：SETランプ3回点滅後、操作切換ボタン2回点滅、ピー音2回
3桁目は「2」

4桁目：SETランプ4回点滅後、操作切換ボタン1回点滅、ピー音1回
4桁目は「1」

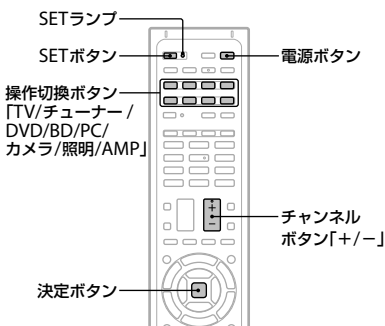
3 **SETボタンを押す。**

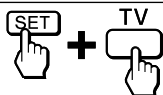
確認を終了します。

C: 機器の動作を確認しながら設定する

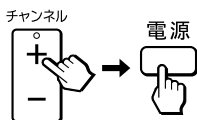
機器に向けて各メーカーのリモコン信号をひとつひとつ送信して、機器の動作を確認します。機器の状態がONからOFFに変わったら設定を確定します。

設定をはじめる前に

正しく設定できるように、最初に設定する機器本体の電源を「ON」にしてください。
* 照明については「消灯」状態にしてください。

例：操作切換ボタン「TV」に設定するには

1 **SETボタンを押したまま、2秒以内に操作切換ボタン「TV」を押して、すぐに離す。**

SETランプと操作切換ボタン「TV」が点灯します。

2 **お持ちの機器がOFF*になるまで、チャンネルボタン「＋/－」と電源ボタンを交互に押す。**

* 照明については「点灯」、パソコンについては「スタンバイ」状態になるまでチャンネルボタン「+/-」と電源ボタンを交互に押してください。

チャンネルボタン「＋」を押すたびにメーカー番号が進み、チャンネルボタン「－」を押すたびにメーカー番号が戻ります。電源ボタンを押すことで、現在のメーカー番号のリモコン信号が送信されます。メーカー番号が進む/戻るなどして「0001」・「1001」・「2001」・「3001」・「4001」・「5001」・「7001」・「8001」になると、SETランプと選択された機器の操作切換ボタンが2回点滅します。

3 **決定ボタンを押す。**

設定が完了すると「ピー」という音が鳴ります。

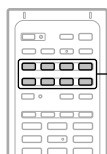
ご注意

- 操作切換ボタン「TV」に設定できる機器は、デジタルテレビ(地上デジタル・BS デジタル・110度CS デジタルチューナー内蔵テレビ)、アナログテレビ(地上アナログ・アナログBS チューナー内蔵テレビ)、ビデオ一体型テレビ(地上アナログ・アナログBS チューナー内蔵)のみです。
- 設定操作の途中で30秒以上ボタンの入力がないと、入力待ち状態が解除されます。設定を続けるには、もう一度手順**1**からやり直してください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。
- 学習(25ページ)したボタンがある場合、新しく機器を設定しても、記憶されたリモコン信号はボタンに残ったままになります。
  学習したリモコン信号を使用しない場合は、「基本ボタン学習&シフトモード基本ボタン学習の消去」(31ページ)または「操作機器ごとのリモコン信号の消去」(32ページ)を行ってください。

設定したメーカー番号を確認するには

「設定したメーカー番号を確認するには」(17ページ)をご覧ください。

リモコンを操作する

操作切換ボタンを押すことで、操作したい機器を切り換えることができます。
ソニー製品を設定した操作切換ボタンを押すと、電源ボタンを押さずに電源が入ります。

例: テレビを操作するには

1 操作切換ボタン「TV」を押す。

操作切換ボタンが点灯します。指を離すと消灯します。

2 操作したいボタンを押す。

それぞれの機器の操作ボタンの機能については、別紙の『機能一覧表』をご覧ください。

ご注意

- 機器や機能によっては操作できないことがあります。この場合は、お手持ちの機器のリモコン信号を本機に学習させてからお使いください。詳しくは「お好みのボタンにリモコン信号を記憶させる — 学習」(25ページ)をご覧ください。ただし、赤外線リモコンに対応していない機器や機能は、本機では操作できません。

シフトモードについて

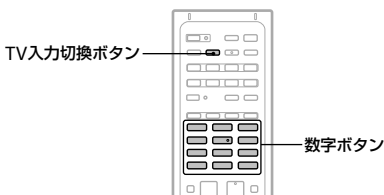
シフトボタンと基本ボタンを押すことで、基本ボタンに割り当てられた機能以外のリモコン信号を送信することができます。

例:ソニー製のテレビでシフトボタンを押してから、リンクメニューボタンを押すと、「お気に入り」機能のリモコン信号が送信されます。

リンクメニューボタンを押す→「リンクメニュー」のリモコン信号が送信
シフトボタンを押しながらリンクメニューボタンを押す→「お気に入り」のリモコン信号が送信
このように、シフトボタンを押してから(シフトランプが点灯します)10秒の間に、ボタンを押すことで、シフトモードのリモコン信号を送信することができます。送信後に、シフトランプは消灯します。連続してシフトモードのリモコン信号を送信したい場合は、シフトボタンを押したまま、ボタンを押してください。詳しくは別紙の『機能一覧表』をご覧ください。

テレビの入力を切り換える

TV入力切換ボタンを押すたびにテレビの入力が切り換わりますが、TV入力切換ボタンを押したまま以下の数字ボタンを押し、直接切り換えることもできます。

下記の操作をしてもうまくできない場合は、お手持ちの機器のリモコン信号を本機に学習させてください。詳しくは「お好みのボタンにリモコン信号を記憶させる ― 学習」（25ページ）をご覧ください。

例：ソニー製
BSデジタル・110度CSデジタル・地上デジタルチューナー内蔵テレビ

<table>
<tr><th></th><th>数字ボタン</th><th>入力</th></tr>
<tr><td rowspan="12">TV入力切換 ＋</td><td>1</td><td>ビデオ 1（LINE-1）</td></tr>
<tr><td>2</td><td>ビデオ 2（LINE-2）</td></tr>
<tr><td>3</td><td>ビデオ 3（LINE-3）</td></tr>
<tr><td>4</td><td>ビデオ 4（LINE-4）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>コンポーネント入力切換</td></tr>
<tr><td>6</td><td>AV マルチ入力切換</td></tr>
<tr><td>7</td><td>コンポーネント 1</td></tr>
<tr><td>8</td><td>コンポーネント 2</td></tr>
<tr><td>9</td><td>コンポーネント 3</td></tr>
<tr><td>10</td><td>テレビ</td></tr>
<tr><td>11</td><td>HDMI1</td></tr>
<tr><td>12</td><td>HDMI2</td></tr>
</table>

音量を調節する

1 **音量ボタン「＋/－」を押す。**

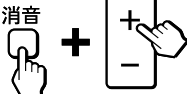
消音するには、消音ボタンを押す。
消音を解除するには、消音ボタンを押す。

お買い上げ時は、選んでいる機器によって音量調節される機器が異なります。

	選んでいる機器(例)	音量が調節される機器
映像機器	テレビ ブルーレイディスクレコーダー DVDレコーダー ブルーレイディスクプレーヤー DVDプレーヤー ビデオデッキ HDDレコーダー スカパー!チューナー ケーブルテレビデジタルチューナー ケーブルテレビホームターミナル 地上･BS･110度CSデジタルチューナー ビデオカメラ	テレビ
オーディオ機器	アンプ DVDプレーヤー内蔵ホームシアター CDプレーヤー	アンプまたはホームシアター

ちょっと一言

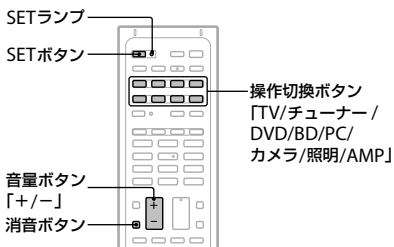
デジタルフォトフレーム、パソコンを操作しているときに、音量ボタン「＋/－」を押すと、デジタルフォトフレーム、パソコンの音量を調節します。

ご注意

- 学習機能(25ページ)で音量ボタン「＋/－」や消音ボタンにリモコン信号を記憶させている機器では、テレビやアンプの音量が調節されるかわりに、記憶させたリモコン信号が送信されます。
- 操作切換ボタン「TV」や「AMP」に設定されている機器の音量ボタン「＋/－」や消音ボタンにリモコン信号を記憶させた場合、他の機器では、記憶させたリモコン信号が送信されます。

テレビなどに接続したオーディオ機器の音量を調節する

テレビやブルーレイレコーダーなどをアンプなどのオーディオ機器に接続している場合、操作切換ボタンで操作する機器を切り換えなくても、AMPボタンに設定されているオーディオ機器の音量を調節することができます。

1 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

SET

2 **消音ボタンを押したまま、音量ボタン「+」を押す。**

消音ボタンを押すと、操作切換ボタン「TV」と操作切換ボタン「AMP」が点灯し、音量ボタン「+」を押すと、操作切換ボタン「AMP」のみが点灯し、「ピー」という音が鳴ります。
全ての機器の操作時に、音量ボタン「+/−」と消音ボタンを押すと、操作切換ボタン「AMP」の音量ボタン「+/−」と消音ボタンに設定されたリモコン信号が送信されます。

3 **手順2で押したボタン2つを同時に離す。**

設定が終了します。

使ってみる

音量調節の設定を解除するには

設定の手順2のときに、消音ボタンを押したまま、音量ボタン「－」を押す。

消音ボタンを押すと、操作切換ボタン「TV」と操作切換ボタン「AMP」が点灯し、音量ボタン「－」を押すと、操作切換ボタン「TV」のみが点灯します。

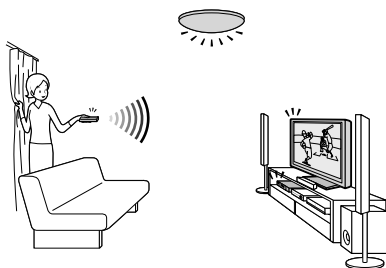
設定が完了すると「ピー」という音が鳴ります。

音量ボタン「＋/－」および消音ボタンの設定が元に戻ります。詳しくは「音量を調節する」（22ページ）をご覧ください。

ご注意

- アンプ、ホームシアターなどのオーディオ機器が操作切換ボタン「AMP」に設定されていない場合は、手順**2**でSETランプが2回点滅し、「ピピッ」という音が鳴ります。この場合、操作切換ボタン「AMP」にオーディオ機器を設定する必要があります。設定のしかたについて詳しくは、「お持ちの機器のリモコンを使って設定する－一発！初期設定」（14ページ）をご覧ください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

お好みのボタンにリモコン信号を記憶させる
— 学習

他の機器のリモコン信号を、本機のボタンに記憶させる（学習させる）ことができます。本機で操作できない機能があるときなどは、リモコン信号を記憶させることによって、操作できるようになります。
また、よく使う機能のリモコン信号を使っていないボタンに記憶させれば、より便利に操作できます。

簡単な手順で学習をする 簡単な手順でリモコン信号を記憶して、すぐにリモコンを操作できます。続けてたくさんのリモコン信号を記憶させる必要がなく、ひとつのリモコン信号だけを記憶させたい場合に便利です。	26ページ
連続して複数のボタンに学習する 連続して複数のボタンにリモコン信号を記憶させることができます。お持ちの機器に付属しているリモコンすべてのリモコン信号を記憶させたい場合などに便利です。	28ページ
操作切換ボタン、システムコントロールボタンに学習する	33ページ

ご注意

- お持ちの機器のリモコンが赤外線リモコンでない場合、学習させることはできません。
- リモコン信号によっては、学習させられない場合があります。

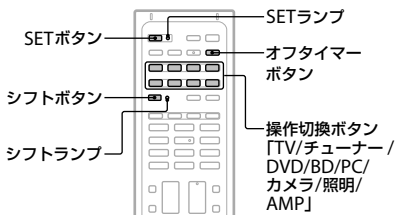
ちょっと一言

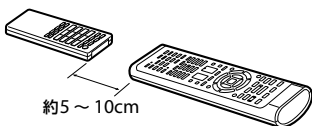
以下のような機器も、学習させることで、ご使用になれる場合があります。

- コンピューター用モニター（チューナー内蔵型を含む）
- スカイパーフェクTV!チューナー内蔵テレビ
- DVDやHDDを内蔵したテレビやビデオデッキ

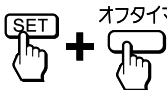
簡単な手順で学習をする

— かんたん学習

お持ちの機器の付属リモコンのリモコン信号を、本機のボタンに記憶させることができます。また、シフトボタンを同時に押すことで、同じボタンに別のリモコン信号を記憶させることができます。

例：操作切換ボタン「DVD」に設定しているDVDプレーヤーを操作しているときに、オフタイマーボタンを押してテレビのオフタイマー機能を使うには

1 **本機と、お持ちのテレビ付属リモコンを向かい合わせにする。**

2 **操作切換ボタン「DVD」を押す。**

3 **SETボタンを押したまま、2秒以内にオフタイマーボタンを押す。2つのボタンを、「ピピッ」という音が鳴るまで押したままにする。**

SET ＋ オフタイマー

SETランプと操作切換ボタン「DVD」が点灯します。指を離すとSETランプが点滅します。

4 「ピー」という音が鳴るまで、お持ちのテレビ付属リモコンのオフタイマーボタンを押したままにする。

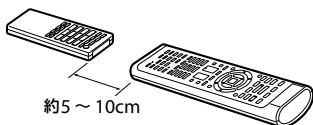
学習を終了します。

ご注意

- 以下のときは学習ができず、SETランプが5回点滅して「ピーピーピーピーピー」という音が鳴ります。
  - 30秒間、本機を操作しなかったとき
  - 本機に記憶できるリモコン信号の容量を超えたとき
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

シフトボタンを使った場合の手順：

例：操作切換ボタン「DVD」に設定しているDVDプレーヤーを操作時に、シフトボタンとオフタイマーボタンを押してテレビのオフタイマー機能を使うには

1 本機と、お持ちのテレビ付属リモコンを向かい合わせにする。

2 操作切換ボタン「DVD」を押す。

3 SETボタンを押したまま、2秒以内にシフトボタンを押す。2つのボタンを押したまま、オフタイマーボタンを押す。「ピピッ」という音が鳴るまで押したままにする。

SETランプと操作切換ボタン「DVD」、シフトランプが点灯します。指を離すとSETランプが点滅します。

4 「ピー」という音が鳴るまで、お持ちのテレビ付属リモコンのオフタイマーボタンを押したままにする。

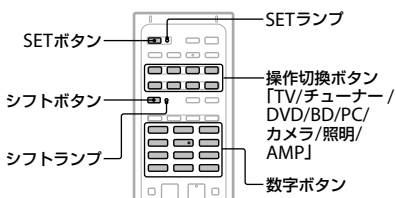
学習を終了します。

ご注意

- 以下のときは学習ができず、SETランプが5回点滅して「ピーピーピーピーピー」という音が鳴ります。
  - 30秒間、本機を操作しなかったとき
  - 本機に記憶できるリモコン信号の容量を超えたとき
- SETランプ点滅中にいずれかのボタンを押すと、SETランプが2回点滅し「ピーピー」という音が鳴り、学習を行わずに中断することができます。もう一度学習を行う場合は、最初から行ってください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

連続して複数のボタンに学習する

＜基本ボタン学習＆シフトモード基本ボタン学習＞

すべての基本ボタンにリモコン信号を記憶させることができます。
シフトボタンを使って、同じボタンに別の信号も学習できます。（シフトモード基本ボタン学習）
連続して複数のリモコン信号を複数のボタンに記憶するときは、この方法が便利です。

例：操作切換ボタン「チューナー」の数字ボタンに、お持ちのチューナーの数字ボタンすべてを記憶させるには

1 本機と、お持ちのチューナー付属リモコンを向かい合わせにする。

2 SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。

SET

3 **操作切換ボタン「チューナー」を押す。**

操作切換ボタン「チューナー」が点灯します。

4 **数字ボタン「1」を押す。**

SETランプの点滅が速くなります。
すでに数字ボタン「1」に学習済みの場合、「ピピッ」という音が鳴り、学習の上書きができる状態になります。

5 **「ピー」という音が鳴るまで、お持ちのチューナー付属リモコンの「1」を押したままにする。**

6 **続けて「2」「3」・・・「12」と記憶させるために手順4と手順5を繰り返す。**

7 **SETボタンを押す。**

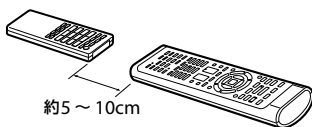
学習を終了します。

ご注意

- 以下のときは学習ができず、SETランプが5回点滅して「ピーピーピーピーピー」という音が鳴ります。
  - 30秒間、本機を操作しなかったとき
  - 本機に記憶できるリモコン信号の容量を超えたとき
- SETランプ点滅中にいずれかのボタンを押すと、SETランプが2回点滅し「ピーピー」という音が鳴り、学習を行わずに中断することができます。もう一度学習を行う場合は、最初から行ってください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

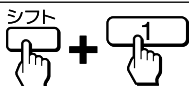
シフトボタンを使った場合の手順:

例:すでに設定されている操作切換ボタン「チューナー」の数字ボタンに、シフトボタンを使ってお持ちのチューナーの数字ボタンすべてを記憶させるには

1 **本機と、お持ちのチューナー付属リモコンを向かい合わせにする。**

2 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

3 **操作切換ボタン「チューナー」を押す。**

操作切換ボタン「チューナー」が点灯します。

4 **シフトボタンを押したまま、数字ボタン「1」を押す。**

SETランプの点滅が速くなります。シフトボタンを押した場合は、シフトランプも点灯します。
すでに数字ボタン「1」に学習済みの場合、「ピピッ」という音が鳴り、学習の上書きができる状態になります。

5 **「ピー」という音が鳴るまで、お持ちのチューナー付属リモコンの「1」を押したままにする。**

6 **続けて「2」「3」・・・「12」と記憶させるために手順4と手順5を繰り返す。**

7 **SETボタンを押す。**

学習を終了します。

ご注意

- TV電源ボタン、TV入力切換ボタン、音量ボタン「+/−」、消音ボタンにはシフトモード学習はできません。
- 以下のときは学習ができず、SETランプが5回点滅して「ピーピーピーピーピー」という音が鳴ります。
  - 30秒間、本機を操作しなかったとき
  - 本機に記憶できるリモコン信号の容量を超えたとき
- SETランプ点滅中にいずれかのボタンを押すと、SETランプが2回点滅し「ピーピー」という音が鳴り、学習を行わずに中断することができます。もう一度学習を行う場合は、最初から行ってください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

正しく操作できない場合は

もう一度学習手順**1**からやり直します。

他のボタンに学習させたいときは

上記学習手順と同様に操作します。

他の機器のボタン機能を学習させたいときは

ボタン機能を学習させたい機器の操作切換ボタンを押し、上記学習手順と同様に操作します。

学習させた内容を変更するときは

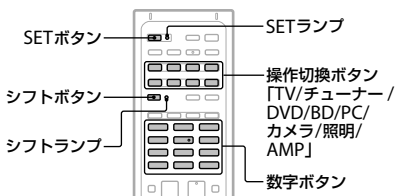
上記学習手順と同様の操作で、学習内容を上書きできます。

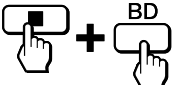
ご注意

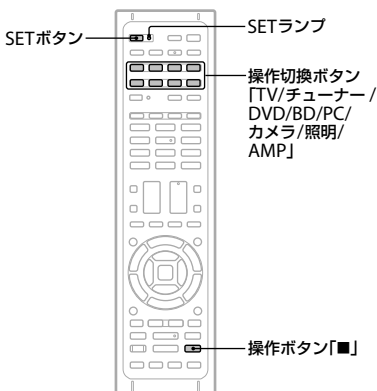
- 上書き学習した場合、以前の学習内容は消去されます。
- 学習したあとに「お持ちの機器のリモコンを使って設定する ― 一発！初期設定」（14ページ）や「お持ちの機器のリモコンを使わずに設定する」（16ページ）にて本機の設定を変えても、記憶された学習信号は残ったままになります。学習したリモコン信号を使用しない場合は、「基本ボタン学習＆シフトモード基本ボタン学習の消去」（31ページ）または「操作機器ごとのリモコン信号の消去」（32ページ）を行ってください。

＜基本ボタン学習＆シフトモード基本ボタン学習の消去＞

基本ボタンやシフトモード基本ボタンの学習をひとつずつ消去します。

「学習」時の手順**4**のときに、「ピー」という音が鳴るまで消去したいボタンを押したままにします。

シフトボタンを使った場合の手順：

「学習」時の手順**4**のときに、「ピー」という音が鳴るまでシフトボタンと消去したいボタンを押したままにします。

＜操作機器ごとのリモコン信号の消去＞

操作機器ごとにすべてのリモコン信号を消去します。

例：操作切換ボタン「BD」内の学習を消去するには

1 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

2 **操作ボタン「■」を押したまま、操作切換ボタン「BD」を押す。**

消去が完了すると「ピー」という音が鳴り、SETランプが消灯します。

3 **SETボタンを押す。**

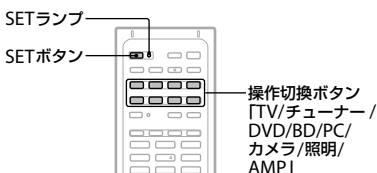
消去が終了します。

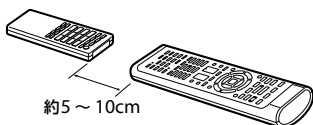
ご注意

本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

操作切換ボタン、システムコントロールボタンに学習する

＜操作切換ボタン学習＞

操作切換ボタンにリモコン信号を記憶させることができます。

例：操作切換ボタン「BD」を押したときに、ブルーレイディスクレコーダーのディスクを再生するには

1 **本機と、お持ちのブルーレイディスクレコーダー付属リモコンを向かい合わせにする。**

2 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

3 **操作切換ボタン「BD」を押す。**

操作切換ボタン「BD」が点灯します。

4 **もう一度、操作切換ボタン「BD」を押す。**

SETランプの点滅が速くなります。すでに操作切換ボタンに学習済みの場合、またはコンポーネントマクロ（操作プログラム）が設定されている場合、「ピピッ」という音が鳴り、学習の上書きができる状態になります。

5 **「ピー」という音が鳴るまで、お持ちのブルーレイディスクレコーダー付属リモコンの「再生」を押したままにする。**

リモコン信号の受信中はSETランプのみ点灯し、受信を完了し記憶が成功した後に操作切換ボタン「BD」が点灯します。

6 **続けて他の操作ボタンにリモコン信号を記憶させるために、手順3 ～ 5を繰り返す。**

7 **SETボタンを押す。**

学習を終了します。

ご注意
- 以下のときは学習ができず、SETランプが5回点滅して「ピーピーピーピーピー」という音が鳴ります。
  - 30秒間、本機を操作しなかったとき
  - 本機に記憶できるリモコン信号の容量を超えたとき
- SETランプ点滅中にいずれかのボタンを押すと、SETランプが2回点滅し「ピーピー」という音が鳴り、学習を行わずに中断することができます。もう一度学習を行う場合は、最初から行ってください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

正しく作動しないときは

もう一度学習手順**1**からやり直します。

他のボタンに学習させたいときは

上記学習手順と同様に操作します。

他の機器のボタン機能を学習させたいときは

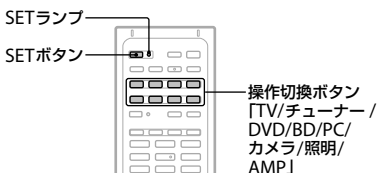
ボタン機能を学習させたい機器の操作切換ボタンを押し、上記学習手順と同様に操作します。

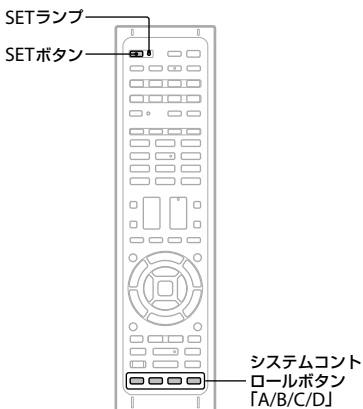
学習させた内容を変更するときは

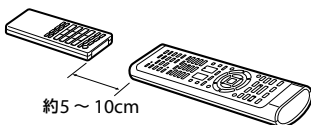
上記学習手順と同様の操作で、学習内容を上書きできます。

ご注意
上書き学習した場合、以前の学習内容は消去されます。

＜操作切換ボタン学習を消去する＞

「学習」時の手順**4**のときに、「ピー」という音が鳴るまで消去したいボタンを押したままにします。

<システムコントロールボタン学習>

選択している操作切換ボタンに関係なく送信したい信号を記憶させることができます。システムコントロールボタンにリモコン信号を記憶させると、操作切換ボタンを押して操作機器を切り換えても、常に同じ操作を行うことができます。

例:システムコントロールボタン「A」に照明を点灯する信号を記憶させるには

1 本機と、お持ちの照明付属リモコンを向かい合わせにする。

2 SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。

3 システムコントロールボタン「A」を押す。

A

SETランプの点滅が速くなります。すでにシステムコントロールボタン「A」に学習済みだったり、操作プログラムが設定されていたりする場合、「ピピッ」という音が鳴り、上書きができる状態になります。

4 「ピー」という音が鳴るまで、お持ちの照明付属リモコンの「点灯」を押したままにする。

5 続けて他のシステムコントロールボタンにリモコン信号を記憶させるために、手順3と手順4を繰り返す。

6 SETボタンを押す。

学習を終了します。

ご注意

- 以下のときは学習ができず、SETランプが5回点滅して「ピーピーピーピーピー」という音が鳴ります。
  - 30秒間、本機を操作しなかったとき
  - 本機に記憶できるリモコン信号の容量を超えたとき
- SETランプ点滅中にいずれかのボタンを押すと、SETランプが2回点滅し「ピーピー」という音が鳴り、学習を行わずに中断することができます。もう一度学習を行う場合は、最初から行ってください。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

学習後に操作するには

本機を操作機器に向け、学習した機能が操作できるか確認します。

正しく作動しないときは

もう一度学習手順**1**からやり直します。

他のボタンに学習させたいときは

上記学習手順と同様に操作します。

他の機器のボタン機能を学習させたいときは

ボタン機能を学習させたい機器のシステムコントロールボタンを押し、上記学習手順と同様に操作します。

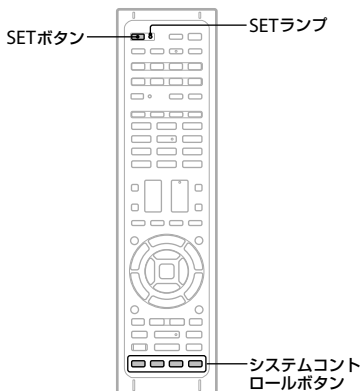
学習させた内容を変更するときは

上記学習手順と同様の操作で、学習内容を上書きできます。

ご注意

上書き学習した場合、以前の学習内容は消去されます。

<システムコントロールボタン学習を消去する>

「学習」時の手順**3**のときに、「ピー」という音が鳴るまで消去したいボタンを押したままにします。

正しく学習させるコツ

- 学習中に、リモコンを動かさないでください。
- 本機が操作説明どおりの状態になるまで、お使いの機器のリモコンのボタンを押し続けてください。
- 両方のリモコンに、新しい電池を入れて学習を行ってください。
- 直射日光のあたる場所や、照明器具の下などは避けてください。（ノイズが入る原因となります。）
- お使いの機器のリモコンの形状によっては、発光部の位置がずれている場合があります。うまく学習できないときは、リモコンの位置を変えてみてください。
- 双方向リモコン（一部ソニー製のアンプに装備）で学習する場合、アンプなどのメインユニット側の信号と干渉し、うまく学習できないことがあります。そのときは別の部屋に移るなどして操作をしてください。

⚠警告

幼児やペットなどに誤って触らせない
このリモコンはオーディオ･ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。
使用後は幼児やペットが誤って触らないように、手の届かないところに置くと同時に、ホールド機能(52ページ)を使って操作ボタンをロックしてください。

エアコンの信号を学習させる場合のご注意

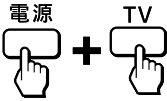
季節による違いについて

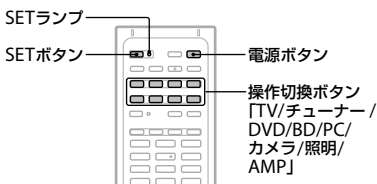
季節によりエアコンの設定や操作を変える必要がある場合は、
そのたびに、本機にリモコン信号を学習し直してください。

エアコンの入/切がうまくできないときは

エアコンのリモコンではひとつのボタンで入/切ができるのに、学習させた本機のボタンでは「入」または「切」しかできないことがあります。その場合はエアコンのリモコンが「入」と「切」のリモコン信号を交互に送信している可能性があります。下記の手順で2つのボタンに学習し直してください。

1. **エアコンの入/切を学習させたボタンの学習内容をいったん消去する。**
2. **そのボタンにエアコンのリモコン信号「入」を学習させる。詳しくは「連続して複数のボタンに学習する」(28ページ)をご覧ください。**
3. **続けて、別のボタンにエアコンの同じボタンのリモコン信号「切」を学習させる。**

これで、本機の2つのボタンにはそれぞれエアコンの電源入(運転)の信号と、電源切(停止)の信号が記憶されるので、本機でエアコンを操作することができます。

電源オン機能を解除する

お買い上げ時には、ソニー製品の機器を設定した操作切換ボタンを押すと、機器の電源が入るように設定されています。この機能は、解除することができます。
この機能はソニー製品に対してのみ対応しておりますので、他社製品には設定できません。

例：操作切換ボタン「TV」の電源オン機能を解除するには

1 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

2 **電源ボタンを押したまま、操作切換ボタン「TV」を押す。**

設定が完了すると「ピー」という音が鳴ります。
操作切換ボタン「TV」が2秒点灯します。
ソニー製品が設定されている操作切換ボタンがあるとき、電源ボタンを押している間、操作切換ボタンが左上から順に点灯します。例えば、ビデオとDVDにソニー製品が設定されているとき、電源ボタンを押すとそれらのボタンが順に点灯します。

3 **手順2で押したボタン2つを同時に離す。**
設定が終了します。

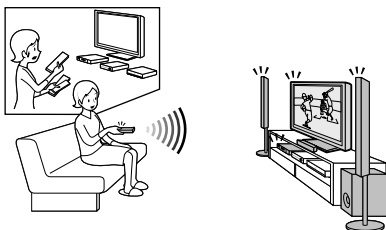
電源オン機能を再設定するには

電源オン機能が解除されている状態で、解除すると同じ手順を行うと再び電源オン機能が設定されます。操作切換ボタンを押して、再設定されたか確認してください。

ご注意

- 手順**2**で、ソニー製品が設定されていない操作切換ボタンを押すと、SETランプが2回点滅し、「ピピッ」という音が鳴ります。
- ソニー製品がどの操作切換ボタンにも設定されていない場合は、電源ボタンが押された時点で、SETランプが2回点滅し、「ピピッ」という音が鳴ります。
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

連続した操作をボタンひとつで行う

— マクロ機能

コンポーネントマクロ 操作切換ボタンに操作プログラム（最大16ステップ）を設定すると、そのボタンを2秒間押すだけで連続操作をボタンひとつで行えます。	41ページ
システムコントロールマクロ システムコントロールボタンに操作プログラム（最大16ステップ）を設定すると、そのボタンを押すだけで連続操作をボタンひとつで行えます。	44ページ
プチマクロ 基本ボタンに操作プログラム（最大5ステップ）を設定すると、そのボタンを押すだけで連続操作をボタンひとつで行えます。	47ページ

操作切換ボタンに操作プログラムを設定する
— コンポーネントマクロ

例えばこんなとき便利です！

こんなとき

テレビとブルーレイディスクレコーダーを接続している。

ブルーレイディスクレコーダーを使うときに、テレビの入力を切り換えてブルーレイディスクの録画リストを呼び出したい。

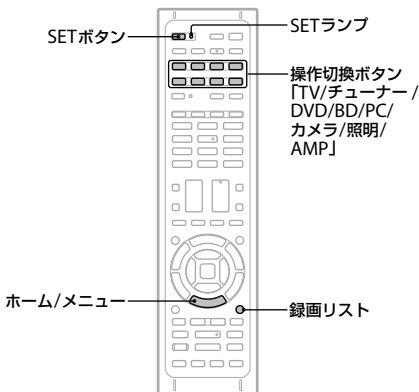
▼

こうすれば

❶テレビの入力を切り換える。
❷録画リストを呼び出す。
上の手順を設定すれば･･･

▼

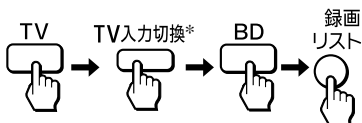
こんなに便利

BDボタンを2秒以上押したままにするだけで、テレビの入力を切り換えて、ブルーレイディスクレコーダーの録画リストを呼び出す手順を、ボタンひとつで行えます。
（この場合、あらかじめテレビとブルーレイディスクレコーダーの電源を入れておく必要があります。）

例:ブルーレイディスクレコーダーを使うときにテレビの入力を切り換えてブルーレイディスクの録画リストを呼び出すプログラムを操作切換ボタン「BD」に設定するには

1 SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。

2 ホーム/メニューボタンを押したまま、操作切換ボタン「BD」を押す。

操作切換ボタン「BD」が点灯します。

3 一連の操作プログラムを入力する。

この例では次のようにボタンを押します。

*: HDMI1の入力切換になる回数だけ押す。
設定可能なステップ数は最大16ステップです。16ステップ入力時点でSETボタンを押さなくても「ピー」という音が鳴って設定が完了します。

4 SETボタンを押す。

設定が完了すると「ピー」という音が鳴ります。

ちょっと一言

設定した操作プログラムがうまく動作しない場合には下記の手順を行うと、操作プログラムで送信されるリモコン信号とリモコン信号の間隔が広がり、機器がリモコン信号を受信しやすくなることで、正常に動作するようになることがあります。

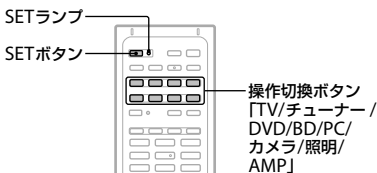
例:テレビの入力がうまく切り換えられないとき

TV入力切換ボタンを連続で押す間に、操作切換ボタン「TV」を押す。操作切換ボタン「TV」を押すたびに、リモコン信号とリモコン信号の間隔が約0.4秒広がります。

ご注意

- 電源オンが設定されている操作切換ボタンにも操作プログラム(コンポーネントマクロ)を設定することができます。この場合、操作切換ボタンを押したときと、プログラム実行中に操作機器が切り換えられたときに電源オン機能が実行されます。
- 設定の途中で30秒以上何も入力されなかった場合は、入力待ちが解除されます。もう一度手順**1**からやり直してください。
- リモコン信号が記憶されている場合、または操作プログラムが設定されている場合は、手順**2**で「ピピッ」という音が鳴り、操作プログラムが上書きされます。
- 以下のボタンは、操作ステップとして組み込めません。
  - すでに操作プログラムを設定している操作切換ボタン
  - システムコントロールボタン
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

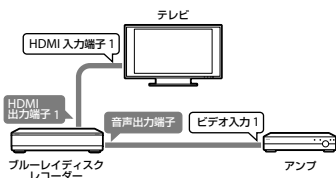
＜コンポーネントマクロを解除する＞

SETボタンを2秒以上押し、SETランプが点滅後、「ピー」という音が鳴るまで解除したいボタンを押したままにします。

システムコントロールボタンに操作プログラムを設定する
— システムコントロールマクロ

例えばこんなときに便利です！

こんなとき

ブルーレイディスクレコーダーをテレビとアンプに接続している。

テレビ
HDMI 入力端子 1
HDMI 出力端子 1
音声出力端子
ビデオ入力 1
ブルーレイディスクレコーダー
アンプ

テレビの入力をブルーレイディスクレコーダーに切り換え、音声をアンプから出力するようにして再生するようにボタンひとつで切り換えたい。

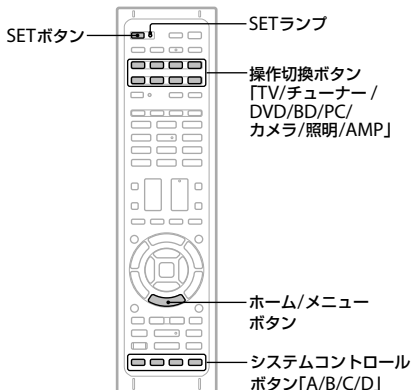
▼

こうすれば

❶テレビの入力をブルーレイディスクレコーダー（HDMI1）に切り換える。
❷アンプの入力をブルーレイディスクレコーダー（ビデオ入力1）に切り換える。
❸ブルーレイディスクレコーダーの再生をする。
上の手順を設定すれば･･･

▼

こんなに便利

システムコントロールボタンAを押すだけで、テレビとアンプの入力を切り換えて、ブルーレイディスクレコーダーの再生を開始します。
（この場合、あらかじめテレビとアンプ、ブルーレイディスクレコーダーの電源を入れておく必要があります。）

例：システムコントロールボタン「A」に操作プログラムを設定するには

1 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

2 **ホーム／メニューボタンを押したまま、システムコントロールボタン「A」を押す。**

すでにシステムコントロールボタン「A」に学習済みだったり、マクロ設定済みだったりする場合、「ピピッ」という音が鳴り、上書きができる状態になります。

3 **一連の操作プログラムを入力する。**

この例では次のようにボタンを押します。

＊: HDMI1の入力切換になる回数だけ押す。
設定可能なステップ数は最大16ステップです。16ステップ入力時点でSETボタンを押さなくても「ピー」という音が鳴って設定が完了します。

使いやすくカスタマイズする

4 SETボタンを押す。

設定が完了すると「ピー」という音が鳴ります。

ちょっと一言

設定した操作プログラムがうまく動作しない場合には下記の手順を行うと、操作プログラムで送信されるリモコン信号とリモコン信号の間隔が広がり、機器がリモコン信号を受信しやすくなることで、正常に動作するようになることがあります。

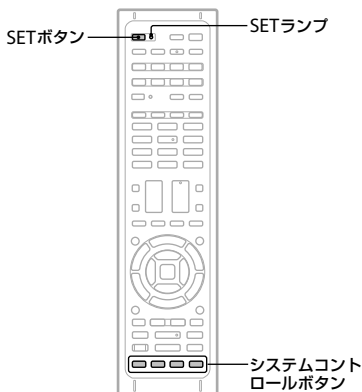
例:テレビの入力がうまく切り換えられないとき

TV入力切換ボタンを連続で押す間に、操作切換ボタン「TV」を押す。操作切換ボタン「TV」を押すたびに、リモコン信号とリモコン信号の間隔が約0.4秒広がります。

ご注意

- 設定の途中で30秒以上何も入力されなかった場合は、入力待ちが解除されます。もう一度手順**1**からやり直してください。
- すでにシステムコントロールボタンに操作プログラムが設定されている場合、または信号が記憶されている(学習されている)場合は手順**2**で「ピピッ」という音が鳴り、操作プログラムが上書きされます。
- 以下のボタンは、操作ステップとして組み込めません。
  - すでに操作プログラムを設定しているボタン
  - システムコントロールボタン
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

<システムコントロールマクロを解除する>

SETボタンを2秒以上押し、SETランプが点滅後、「ピー」という音が鳴るまで解除したいボタンを押したままにします。

基本ボタンに操作プログラムを設定する

— プチマクロ

例えばこんなとき便利です！

こんなとき	スカパー!の3桁のチャンネル入力を一発で行いたい。

▼

こうすれば

スカパー!を選んで、数字ボタン1に、チャンネル入力の操作ステップ❶～❸を設定すれば…

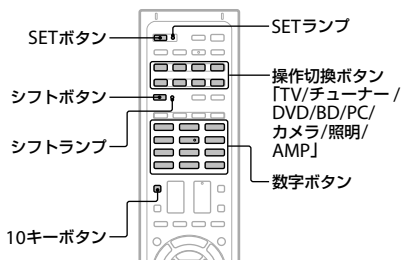
ステップ❶：　ステップ❷：　ステップ❸：

▼

こんなに便利

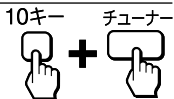
数字ボタン1を押すだけで、お好みのチャンネルに一発で切り換えられます。

（この場合、あらかじめテレビとスカパー!チューナーの電源を入れて、スカパー!チューナーが設定されている操作切換ボタンを押しておく必要があります。）

シフトボタンを使って、同ボタンに操作プログラムをもう一つ設定できます。

例：操作切換ボタン「チューナー」選択時の数字ボタン「1」に操作プログラムを設定するには

1 SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。

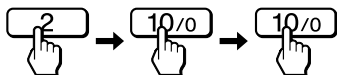
使いやすくカスタマイズする

2　10キーボタンを押したまま、操作切換ボタン「チューナー」を押す。

操作切換ボタン「チューナー」が点灯します。

3　数字ボタン「1」を押す。

数字ボタン「1」を押したときに操作切換ボタン「チューナー」が消灯しますが、数字ボタン「1」から指を離すと操作切換ボタン「チューナー」が再び点灯します。
すでに操作切換ボタン「チューナー」選択時の数字ボタン「1」に学習済みであったり、マクロ設定済みだったりする場合、「ピピッ」という音が鳴り、上書きができる状態になります。

4　一連の操作プログラムを入力する。

この例では次のようにボタンを押します。

設定可能なステップ数は最大5ステップです。5ステップ入力時点でSETボタンを押さなくても「ピー」という音が鳴って設定が完了します。

5　SETボタンを押す。

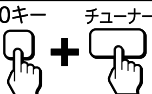
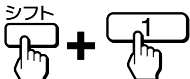
設定が完了すると「ピー」という音が鳴ります。
続けて操作プログラムを設定する場合は、手順**3**と**4**を繰り返します。

6　もう一度SETボタンを押す。

設定が終了します。

ちょっと一言

設定した操作プログラムがうまく動作しない場合には下記の手順を行うと、操作プログラムで送信されるリモコン信号とリモコン信号の間隔が広がり、機器がリモコン信号を受信しやすくなることで、正常に動作するようになることがあります。

例:チャンネルの入力がうまく切り換えられないとき

チャンネル入力を連続で押す間に、操作切換ボタン「チューナー」を押す。操作切換ボタン「チューナー」を押すたびに、リモコン信号とリモコン信号の間隔が約0.4秒広がります。

ご注意

- 設定の途中で30秒以上何も入力されなかった場合は、入力待ちが解除されます。もう一度手順**1**からやり直してください。
- すでに基本ボタンに操作プログラムが設定されている場合、または信号が記憶されている（学習されている）場合は手順**3**で「ピピッ」という音が鳴り、操作プログラムが上書きされます。
- 以下のボタンは、操作ステップとして組み込めません。
  - すでに操作プログラムを設定しているボタン
  - システムコントロールボタン
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

シフトボタンを使った場合の手順：

例：操作切換ボタン「チューナー」選択時の数字ボタン「1」にシフトボタンを使って操作プログラムを設定するには

1 **SETランプが点滅するまで、SETボタンを押したままにする。**

SET

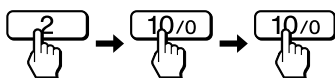
2 **10キーボタンを押したまま、操作切換ボタン「チューナー」を押す。**

操作切換ボタン「チューナー」が点灯します。

3 **シフトボタンを押したまま、数字ボタン「1」を押す。**

シフトボタンと数字ボタン「1」を押したときに操作切換ボタン「チューナー」が消灯しますが、シフトボタンと数字ボタン「1」から指を離すとシフトランプと操作切換ボタン「チューナー」が再び点灯します。
すでに操作切換ボタン「チューナー」選択時の数字ボタン「1」に学習済みであったり、マクロ設定済みだったりする場合、「ピピッ」という音が鳴り、上書きができる状態になります。

4 **一連の操作プログラムを入力する。**

この例では次のようにボタンを押します。

設定可能なステップ数は最大5ステップです。5ステップ入力時点でSETボタンを押さなくても「ピー」という音が鳴って設定が完了します。

5 **SETボタンを押す。**

設定が完了すると「ピー」という音が鳴ります。続けて操作プログラムを設定する場合は、手順**3**と**4**を繰り返します。

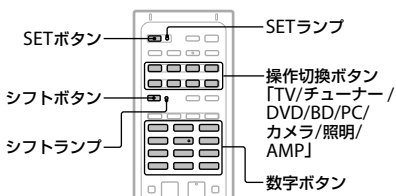
6 **SETボタンを押す。**

設定が終了します。

ご注意

- 設定の途中で30秒以上何も入力されなかった場合は、入力待ちが解除されます。もう一度手順**1**からやり直してください。
- すでに基本ボタンに操作プログラムが設定されている場合、または信号が記憶されている(学習されている)場合は手順**3**で「ピピッ」という音が鳴り、操作プログラムが上書きされます。
- 以下のボタンは、操作ステップとして組み込めません。
  - すでに操作プログラムを設定しているボタン
  - システムコントロールボタン
- 本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

＜プチマクロを解除する＞

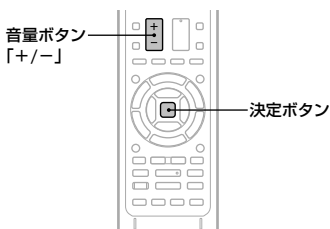
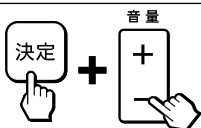
基本ボタンやシフトモード基本ボタンの操作プログラムをひとつずつ解除します。
SETボタンを2秒以上押し、SETランプが点滅後、「ピー」という音が鳴るまで解除したいボタンを押したままにします。

シフトボタンを使った場合の手順：

SETボタンを2秒以上押し、SETランプが点滅後、「ピー」という音が鳴るまでシフトボタンと解除したいボタンを押したままにします。

マクロをうまく設定できない場合

ソニー機器の場合は、機器を切り換えるだけで自動的に電源が入ります。
そのため、電源を入れる操作ステップを設定すると、機器の電源が切れてしまうことがあります。
この場合、電源が切れないようにするためには、ソニー機器の電源が自動で入らないように設定を変更します。
詳しくは「電源オン機能を解除する」(39ページ)をご覧ください。

ボタンタッチ音を消す

本機はボタンを押すとボタンタッチ音が鳴るように設定されていますが、この音を消すこともできます。ただし、設定中の確定音、エラー音を消すことはできません。

1 決定ボタンを押したまま、音量ボタン「−」を押す。

ボタンタッチ音が鳴るようにするには

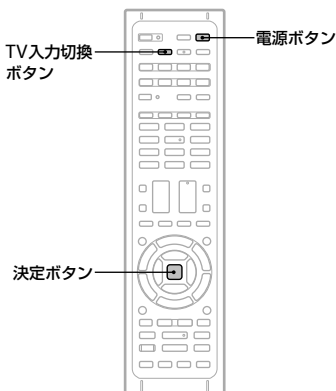
決定ボタンを押したまま、音量ボタン「＋」を押す。

「ピッ」という音が鳴ります。

ご注意

本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

誤操作を防ぐ
— ホールド機能

誤操作を防ぐために、ボタンを押しても一切の操作ができないように設定できます。

1 **決定ボタンを押したまま、電源ボタンを押す。2つのボタンを押したまま、最後にTV入力切換ボタンを押す。**

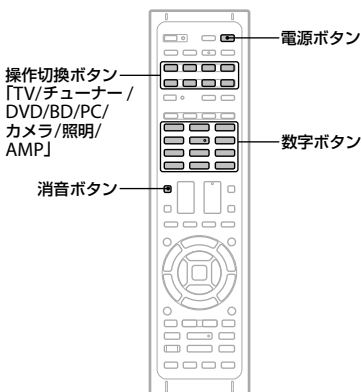
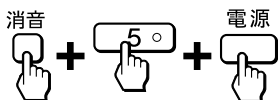
SETランプと操作中の操作切換ボタンが1回点滅し、「ピー」という音が鳴ってホールド状態となります。
ホールド中はすべての操作が無効になります。いずれかのボタンを押した場合は、SETランプと操作切換ボタンが2回点滅し、「ピピッ」という音が鳴ります。

ホールドを解除するには

決定ボタンを押したまま、電源ボタンとTV入力切換ボタンを押す。

ホールド機能設定と同じ操作でホールドを解除することができます。
SETランプと現在使用している機器の操作切換ボタンが1回点滅してホールドが解除されます。

お買い上げ時の設定に戻す

すべての設定内容や学習機能によって記憶されたリモコン信号を消去し、本機をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 **消音ボタンを押したまま、数字ボタン「5」を押す。2つのボタンを押したまま、最後に電源ボタンを押す。**

操作切換ボタン「TV」、「チューナー」、「DVD」、「BD」の順に点滅します。
お買い上げ時の設定に戻ると、「ピー」という音が鳴ります。

ご注意
本機の電池が消耗している場合は、SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴ります。新しい電池に交換してください。

使用上のご注意

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 暖房器具のそばや直射日光のあたる場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
- 操作する機器のリモコン信号受光部に、直射日光や強い照明があたらないようにしてください。本機で操作ができない場合があります。
- 本機はオーディオ･ビデオ機器の操作に加えて、学習機能により冷暖房器具や電気器具なども操作できるため、幼児やペットが誤って操作すると火災や大けがなどの原因となります。

お手入れのしかた

本機の表面は、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは、表面を傷めますので、使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：RM-PLZ530D
- ご相談内容：できるだけ詳しく
  （本機で操作できない機器の「メーカー名」、「型番」など）
- お買い上げ年月日：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではリモートコマンダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

主な仕様

動作距離
約11 m*（正面距離）

学習可能ボタン数
約948（ソニーリモコン信号にて）

学習可能ビット数
250ビット

学習可能周波数
500 kHz以下

電源
DC 3 V、単3形乾電池2本
（充電式電池は使用できません）

電池持続時間
約1年
（1日に300回、ソニーリモコン信号を送信した場合）
− 使用頻度で変わります。

最大外形寸法
約54×210×27 mm（幅×高さ×奥行き）

質量
約165 g（電池含む）

付属品
- 単3形乾電池（2）**
- かんたん設定ガイド（1）
- 取扱説明書（1）
- 機能一覧表（1）
- メーカー番号一覧表（1）
- 保証書（1）

* 使用機器のメーカー·機種によっては距離が変わる場合があります。
** 付属のマンガン電池はお試し用です。

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

故障かな？と思ったら

本機が正しく動作しないときは、まず電池を確認（12ページ）してから、下記の項目をチェックしてください。それでも正しく動作しないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口、修理相談窓口にお問い合わせください。

症状	原因/処置
本機で操作できない	• お持ちの機器のリモコンを使って設定する ― 一発！初期設定」（14ページ）、「お持ちの機器のリモコンを使わずに設定する」（16ページ）（以下「メーカー設定」）をしていない。 → 他社製の機器またはソニー製の機器でも操作できない場合は、メーカー設定をしてください。 • 本機からの信号が機器に届いていない。 → 11m以内で使用し、障害物を取り除いてください。 • 機器本体の電源が入っていない。 → 機器本体の電源を入れてください。 • 正しく操作切り換えされていない。 → 正しい操作切り換えボタンを押してください。 • お使いの機器が赤外線方式のリモコン対応になっていない。 → 操作する機器にリモコンが付属されていない場合は、本機では操作できないことがあります。 • 操作切り換えボタンが別の機器の設定になっている。 → そのボタンに設定した機器のメーカー設定やメーカー番号などを確認し、設定し直してください。
メーカー設定をしたのに操作できない	• 正しくメーカー設定されていない。 → メーカー設定をやり直してください。 詳しくは「お持ちの機器のリモコンを使って設定する―一発！初期設定」（14ページ）と「お持ちの機器のリモコンを使わずに設定する」（16ページ）をご覧ください。 同じメーカーでメーカー番号が複数ある場合は、他の番号を試してください。 →「お持ちの機器のリモコンを使って設定する ― 一発！初期設定」（14ページ）や「機器の動作を確認しながら設定する」（18ページ）を再度行ってください。 →「メーカー番号を入力して設定する」（16ページ）でメーカー番号を設定してください。
ボタンを押しても、操作切換ボタンがすぐ消えて信号が送信されない	• 電池が消耗している。 → 新しい電池に交換してください。

症状	原因/処置
学習がうまくできない	● 他の機器の信号が混線していたり、蛍光灯の光やテレビからの光がリモコン信号を妨害している。 →部屋を移動して学習をしてください。
学習させたが操作できない	正しく学習されていない。 →学習をやり直してください。
学習操作中にSETランプが5回点滅し、「ピーピーピーピーピー」という音が鳴る	正しく学習ができていない。 →学習をやり直してください。 メモリー容量が足りない。 →使用頻度が少ない学習ボタンをクリアして容量を確保し、再度学習させてください。
設定中に操作切換ボタンが5回点滅し、「ピーピーピーピーピー」という音が鳴る	正しくメーカー番号の設定ができていない。 →メーカー設定をやり直してください。 詳しくは「メーカー番号を入力して設定する」（16ページ）をご覧ください。 同じメーカーでメーカー番号が複数ある場合は、他の番号を試してください。
操作切換ボタンがすべて2回点滅する	ホールド機能中になっている。 →ホールド機能を解除してください。 詳しくは「誤操作を防ぐ — ホールド機能」（52ページ）をご覧ください。
ボタンを押してもボタンタッチ音が出ない	ボタンタッチ音がオフになっている。 →ボタンタッチ音をオンにしてください。 詳しくは「ボタンタッチ音を消す」（51ページ）をご覧ください。
メーカー番号設定中に操作切換ボタンが2回点滅する	メーカー番号設定中に無効なボタンが押された。 →番号設定に有効なボタンを押して設定を続けてください。またはSETボタンを押し、操作を中止し、はじめから設定し直してください。
ボタンを押してもSETランプや操作切換ボタンが一瞬点滅し、操作ができない	乾電池端子が接触不良になっている。 →乾電池の＋/－端子が汚れているため接触不良となっています。乾電池を何度か入れ直してください。
設定したマクロが正しく働かない	正しくマクロの設定ができていない。 →マクロの設定をやり直してください。 詳しくは「連続した操作をボタンひとつで行う－マクロ機能」（40ページ）をご覧ください。 本機からの信号が機器に届いていない。 →リモコンの向きを変えて操作するか、機器どうしを近づけて障害物を取り除いてください。 操作ステップの間隔が短すぎる。 →ボタンの入力順序を変える、または操作ステップの間隔を追加する（42ページ）を行ってください。 操作切換ボタンに学習している。 →操作切換ボタンに学習させている場合、操作プログラムの設定ができないため、はじめから設定し直してください。

症状	原因/処置
操作切換ボタンを押しても電源が入らない	操作切換ボタンに学習している。 → 操作切換ボタンに学習させている場合、電源オン機能が使えません。学習をクリアすると電源オン機能が使えるようになります。（ソニー製機器のみ）
SETランプが3回点滅して、「ピーピーピー」という音が鳴る	電池が消耗している。 → 新しい電池に交換してください。

その他

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	**修理相談窓口**
フリーダイヤル …………0120-333-020	フリーダイヤル …………0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 …………0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 …………0466-31-2531 ※取扱説明書･リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「999」+「#」
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-267-197-**02** (1)